

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2026年4月2日(木)

NO. 1668号

本号3頁

スパイ防止法案 葬り去るしかない!!

総選挙の結果、当選した議員の中で憲法改正に「賛成」が78%で、「どちらかといえば」を加えると89%(読売調査)となり、憲法は戦後最大な危機を迎えています。そして、スパイ防止法案が国会に提出され、制定への危険な動きが強まっています。急いで反対世論を高め、この悪法を葬り去ることが求められます。

参政党は、罰則付きのスパイ防止関連2法案を参院に提出、つづいて国民民主党もスパイ防止・インテリジェンス(情報の収集・分析・活用)機能を強化する法案を衆院に提出しました。

■スパイ防止法制定の“先陣争い”そして、「反動ブロック形成の危険」

自民党と日本維新の会は政権合意でスパイ防止法を「令和7(2025)年に検討を開始し、速やかに法案を制定、成立」と明記しています。

党首討論で高市早苗首相は、スパイ防止法の制定を求める神谷宗幣参政党代表に応え、「今年検討を開始し、速やかに法案を策定することを考えている」と応じました。

これらの党が推進しているスパイ防止法は、「戦争する国」づくりと一体に、外国勢力の脅威をあり、スパイの取り締まりを口実にすべての市民を監視し、報道の自由を奪い、人権と民主主義を蹂躪するものです。

参政党の防諜(ぼうちょう)法案要綱では防諜の対象を「安全保障に支障を与えるおそれがあるもの」と無限定に広げうるものにし、「極端な思想の公務員を辞めさせる。そのためのスパイ防止法が必要だ」と語る神谷氏は、地方公共団体にも防諜措置を義務づけています。国民民主の法案要綱ではインテリジェンスを「国家の存立に関わる重要な課題」と強調し、その防護のために「国民の自由と権利に制限が加えられる場合」があることを当然視しています。

神谷氏は法案提出について「スパイ防止法をつくっていこうという提案」と位置づけ、国民民主の山田吉彦安保調査会長は「提出した法案が各党協議のスタートになる」とのべました。

「各党と意見交換したい」としていた維新の藤田文武共同代表は、議員定数「自動削減」法案の成立への協力を求めて神谷氏と会談、神谷氏は協力する条件としてスパイ防止法と、自民党がPTを設置し今国会で成立を目指すとする国旗損壊罪の制定への協力を求め、「非常に前向きな会談」(藤田氏)になったと“共鳴”しあっています。

これらの党は、スパイ防止法制定の“先陣争い”をしながら、法案の内容の調整や一本化も含め、連携を強めているのが目立ちます。まさに「反動ブロック形成の危険」が現実のものになっています。

■スパイ防止法の反対の声を広げに広げよう

自民党は中曽根政権時代の1985年に国家秘密法案を提出しましたが、処罰対象が広く、最高刑を死刑としたことなどが批判され、廃案となりました。その後、防衛・外交・スパイ・テロの4分野を対象にした特定秘密保護法を制定。経済安全保障にかかわる重要情報を保護する法律もつくっています。

そして、高市氏は、2013年の秘密保護法の採決で唯一棄権、その前のスパイ防止法にも反対した村上誠一郎前総務相を四国ブロック10位に下げました。これまでの国政選挙を考えれば、四国ブロック10位では、当選するわけないところに位置付けました。見せしめであり、何としてもスパイ防止をやるんだとの決意の表したのでしょうか。しかし、今回の「異常な」選挙の結果、村上氏は当選しました。

一方で、1980年代にスパイ防止法が「治安維持法の再来」と厳しい批判を受けて廃案になったことを意識し、提出された法案の「基本理念」では「憲法の保障する国民の自由と権利が尊重されな

ければならない」などごまかそうとしているのも特徴です。しかし、市民を監視・抑圧する本質はいささかもかわりません。逆にこんな弁明をせざるをえないこと自体いかに市民の自由を侵す危険な法であるかを告白するものです。

そして、「懸念されるのは、警察当局などによる市民への監視の網が広がること」（「毎日」社説）、「民主主義の土台が崩される」（「信濃毎日」社説）などスパイ防止法に反対する声が広がっています。

また、総選挙の結果、憲法は戦後最大な危機を迎えています。3月10日に国会正門前で行われた「平和憲法を守るための緊急アクション」には8000人、3月19日の「19日行動」には11000人、さらに、憲法改正に反対し、米国・イスラエルとイランの戦闘に抗議する25日夜の国会前行動には2万4000人参加。そしてスパイ防止法反対のオール埼玉の学習会には340人参加、13万円のカンパが集まりました。さらに、憲法会議の春の憲法講座には会場に150人、オンライン参加は110人、そして宮城と中野では集団視聴学習会が開催され、合わせて70人が参加と合わせて330人が参加。このように憲法の危機を何とかしたい、スパイ防止法を阻止しようと、全国各地で、新しい仲間とともに新しい共同のたたかいが構築され始めています。

民主主義を守る一点での幅広い共同をつくり、スパイ防止法の企てを打ち砕きましょう。

「王はいらない」「トランプは出て行け」全米各地で抗議デモ 移民摘発やイラン攻撃に批判の声

全米各地で28日、トランプ大統領の強権的な政治手法に抗議するデモがあり、参加者は「NO KINGS（王はいらない）」をスローガンに行進。昨年1月のトランプ氏の2期目就任以降、同様のデモは3度目。主催者によると今回は3000カ所以上で最大規模の推計800万人以上が参加し、イラン攻撃開始から1カ月にあたり、無法な戦争に抗議する声が上がりました。

主催団体は米メディアに「国民はトランプ政権の横暴や違法な戦争にうんざりしている。われわれは変化を待つのではなく、変化を起こす」と述べました。

東部ニューヨーク・マンハッタンでは10ブロックにわたって隊列が広がり、数千人がセントラルパークから繁華街タイムズスクエアを越えて1キロ以上を行進。「戦争反対」「ICE（移民・税関捜査局）はいらない」などのプラカードを手に「トランプは出て行け」と声を合わせました。

今年1月に強硬な移民摘発に抗議する市民2人が捜査官に射殺された中西部ミネソタ州でもデモが行われました。米メディアによると、同州セントポールではロック界の大御所、ブルース・スプリングスティーンが射殺事件を受けてつくった「ストリート・オブ・ミネアポリス」を歌って2人の死を悼み、集まった人たちが「ICEを追い出せ」と叫びました。

民主党進歩派で「民主的社会主義者」のサンダース上院議員は同州の集会で、イラン攻撃について「違憲で国際法違反の戦争だ」と改めて批判。「暴走するトランプ政権の軍国主義をとめなければならぬ」と訴え、「団結して立ち上がれば、必ずこの国を私たちが目指す姿に変えていける」と強調しました。

首都ワシントン、東部フィラデルフィアなどでも多くの人が抗議しました。

音楽と踊りで反戦 DJら集会 米・イスラエル・高市政権に抗議

イラン攻撃を続けるアメリカとイスラエルや、それを批判せず戦争できる国づくりを強権的に進める高市早苗政権に対し、DJらが奏でる音楽で踊って抗議する集会が29日、東京・新宿駅前で開催されました。排外主義に抗議する音楽集会を開いてきた「Protest Rave」（プロテストレイブ）などが主催しました。

「反戦」や「反差別」などの巨大な旗が振られる中、DJが次々に交代し選曲。時間が進むごとに増える参加者が音楽に体を揺らしました。

DJのMars 89さんは、差別的な考えを持ち議会を軽視している高市首相が、世界で盛り上がる排外主義の流れを継承して力を得ていると指摘。自身が選曲するハウスミュージックが抵抗の文化から生まれたことを強調し、「DJとしてできる手段で、あらゆる差別や暴力に抵抗したい」と話しました。

スモークやシャボン玉が宙を舞う集会に、多くの通行人がスマホを向けていました。

参加した女性（18）＝東京都世田谷区＝は、自民党が総選挙で過半数の議席を得たことで国会軽視やアメリカへのすり寄りが強まる状況を、受験勉強中にも心配していたといいます。「受験が終わって、3月からデモに参加し始めて今日で3回目。一人だと絶望してしまうが、ここに来ると安心できる。通り過ぎる人にも危機感を伝えたい」と話しました。

デモ多彩に「戦争はイヤ」増える声 オタク活動できる平和最高

「推しのいる世界を、戦場にするな」。国会議事堂正門前で28日、「#オタクによる反戦デモ」が行われ、2000人超が集まりました。漫画家や声優、脚本家などのアニメ関係者、「オタク文化」を愛する人たちが集まり、推しのキャラクター入りのプラカードやグッズを手に「戦争反対」「平和が最高」と声を上げました。



デモ発起人の高橋裕行さんは、デモを思いつき「たったの2週間で、ここまで大きくなるとは思わなかった」。「オタクは平和でなければ活動できない」とあいさつしました。

アニメ「機動戦士ガンダム」のプロデューサーの植田益朗さんは、かつて戦意高揚のアニメしか作れなかった時代があったとし「そういう方向に持って行かないよう、一緒に手を携えてアピールしていきたい」とスピーチしました。

漫画家の所十三さんは「戦争はすべてを壊す」と発言。「千と千尋の神隠し」でリンの声を務めた玉井夕海さんは「ヒーローものをみて育った人たちが、ヒーローみたいになってここに集まって『戦争はイヤ』」といっている。本当にうれしい。

竹熊健太郎さん、山本直樹さんらが次々とスピーチし、賛同メッセージが読み上げられました。

千葉県から参加した男性（46）は「戦争反対だった手塚治虫の漫画を読んでいたから今、戦争反対と思える。高市政権の危険な方向を止めたい」。デモ初参加の女性（34）は「今、黙ってはいられない。あらがう数の一人になりたい」と話し、コールに加わりました。

東京・清瀬市長選、共産と社民推薦の原田博美氏が初当選

東京都清瀬市長選が29日に投開票され、無所属新顔で前市議会副議長の原田博美氏（50）＝共産、社民推薦＝が、無所属現職の渋谷桂司氏（52）＝自民、公明推薦＝を破り、初当選を決めました。

当選を決めた原田氏は「市民の力で勝利ができた。高い壁で難しいと思ったが、なんとか変えてほしいという市民の声があった」と述べました。

元病院職員で、2003年の市議選に共産党公認で初当選。6期目まで務めました。

選挙戦では医療や子育て環境の充実に取り組んだ経験を強調し、「市民の声を生かした街づくり」を掲げました。閉館となった市立図書館の再開を訴え、「閉館は失敗だった」と現市政を批判。清瀬駅周辺への市役所出張所の設置や、子どもの権利条例制定もめざすとし、支持を広げました。

【当面の行動】

- 4月1日（水）14：00～ 新署名記者発表会
- 4月5日（日）18：30～ 市民と野党の共同アクション4・5 ペンライトアクション 池袋駅西口
- 4月8日（水）19：00～ 改憲反対・米国のイラン攻撃に反対する国会前行動
- 4月9日（木）18：00～ 大軍拡・増税NO連絡会オンライン学習会
- 4月16日（木）18：00～ 新署名キックオフ街頭宣伝 新宿東南口
- 4月19日（日）14：00～ 「19行動」 国会正門前
- 4月21日（火）18：00～ ウィメンズアクション…有楽町イトシア前
- 5月3日（日）11：00～ 2026 憲法大集会…有明防災公園